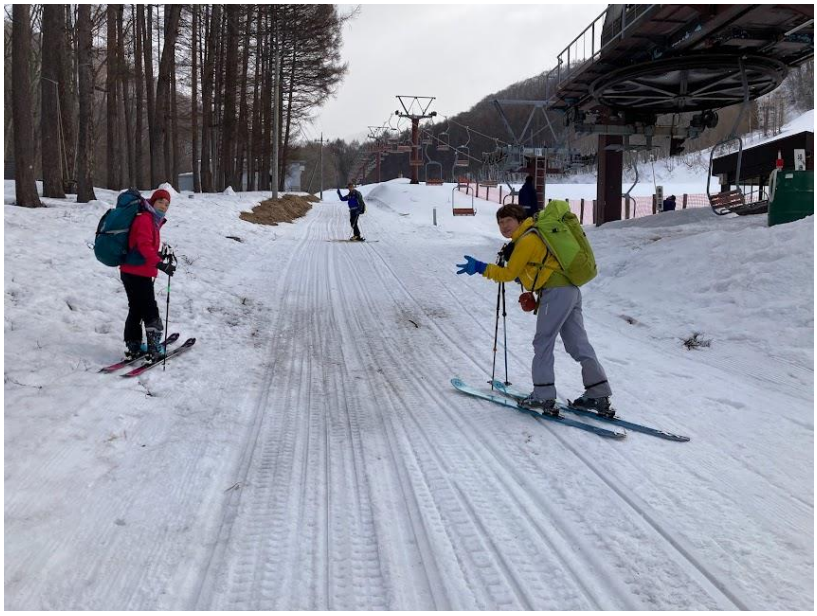
尾瀬・大行山　山スキー

Ｔ野



2023 年３月４日
メンバー：　T野･A原･S石京･K林

このところ暖かい日が続いている。東京では 20 度オーバーの日もあるほどで、雪がどんどん溶けている。こうなるとパウダーはもう期待できず、ザラメの快適そうな場所をと、いろいろ考えた末、今回は日帰りなので、近場でも雪がありそうで、比較的標高が高い尾瀬の大行山をチョイスした。

前夜、西武池袋線の練馬駅を出発。しかし、事故渋滞や、わけのわからぬ工事で想定外に時間がかかり、高速を下りたりして１時間ほどロスした。遠距離移動なら大いに焦るところだが、近場ゆえ、たいした影響もなく、「道の駅白沢」に日付変更線を超えたころに到着。軽く入山祝いの後仮眠。

3/4

朝、ディーリーヤマザキで朝食と行動食を購入。パンの種類が多く、セブン、ファミマ、ローソンといったメジャーコンビニよりも選択肢もありお薦め。

■写真上　戸倉スキー場から出発。
■写真中　取り付いた尾根は急峻で必死のシートラーゲン！！
■写真下　悪魔の尾根が幻だったような穏やかな森。

入山口の戸倉スキー場に向かうも雪がほとんどなく、今年の小雪を実感する。それでもスキー場まで来れば何とか雪があり、シールオンして 8:00 に出発。最初はキャットで踏まれた車道を淡々と

歩く。踏まれているのでラッセルは全くないが、趣のない単調なアプローチだ。1 時間ほど歩き、富士見下小屋まで来れば道はつづら折りとなり、ようやくキャット道をショートカットしながら登れるようになる。カーブ 1 本分ショートカットすると右岸から快適そうな尾根が下りてくる。地図を確認すると、一部急なところもあるが、大行山と1752m峰の鞍部に問題なく登れそうなので、キャット道を嫌ってこの尾根を登ることにする。

最初はいい感じで登って行けた。しかし、登るにつれ尾根は地図からは想像もできない急峻な痩せ尾根となり、まさに「後悔先に立たず」状態。途中からいよいよスキーでは登れず、ツボ足になって必死に登るが、蟻地獄のように足場の雪が崩れて、なかなか思うように登れず苦労する。標高差では 50mほどだったが、何とかシールで登れる傾斜になった時はもうヘロヘロであった。

しかし、ここからが大行山の真骨頂！！つい、さっき苦労した尾根がまるで幻だったかのような楽園的な疎林の森となる。いい感じのブナの木があり、皆で記念写真タイム！！その後もおだやかな森をのんびり登っていくと、傾斜がほとんどなくなり、木に括り付けてある「大行山」の道標を見つけた。2014 年にここを訪れた時は、標識を見つけられず一番高そうな場所を山頂としたが、その時にこの道標があったかどうかは定かではない。なお、この道標は「鈴蘭山の会」によって取り付けられたものだが、地図の山頂とは少し離れた場所にあった。まあ、どこも平坦な台地なので大した問題ではないが・・・。

ところで、今日は予報では文句なしの晴れで気温も上がるということであったが、なぜか小雪模様で日が差さず気温も低い。さらに、前日には雪が降ったらしく、これはひょっとして北面ならパウダーらしきものがあるパターンかも！！と思い、試しに赤川に向け北面を滑ってみることにする。

■写真上　いいブナだねぇ～！！
■写真中　大行山山頂！！
■写真下　木に括り付けてあったプレート

実は 2014 年に来たときも赤川への滑降を試みたのだが、良いラインが見つけられず、濃い樹林と滑りづらい波打った硬い雪に阻まれ、50mほど滑ったところでメンバーの反対にあい、滑降を中止して登り返したという経緯があったのだが、今回は簡単に良いラインを見つけることができ、標高差約200mの天国を味わうことができた。メローなパウダーの疎林が最高！！ここは近いし、雪も良いので今後の厳冬期の定番にしてもよいと思った。いやいや、大変おいしゅうございました！！

1550m付近まで滑り、真東に約 150m緩く登り返せば、1752m峰と 1786m峰の鞍部。この辺りも良い森で時間と体力に余裕があれば 1786mの北西面も楽しめそうだ。

■写真上　北面のパウダーの疎林を滑る。
■写真下　気持ちいいね！！

さて、我々は田代湿原の南端を目指して滑降、こっちは南東面なのでモナカを覚悟していたがそれほどのこともなく、まずまず滑りやすい雪で快適に下りていくとキャットで踏まれた車道に出た。後はもう自動運転で戻れるが、適当にショートカットするのもまた楽しい。つづら折りをショートカットして下りれば、後はホントに自動運転でひと滑り、戸倉スキー場はもうすぐであった。

「大行山」、ホント良い山であった！！登りに採ったルートは明らかにミスルートだったので決してお薦めしないが、復路をピストンするか、大カッパ沢右岸の尾根から周遊すれば、良い森を歩いてパウダーを楽しむには最高のルートで、初級者にも是非お薦めしたい山である。また、対岸にある白尾山も気持ちの良い等高線を描いているので、ぜひそのうちに行ってみたい山である。近くて厳冬期に楽しい山が、またひとつ頭の引き出しに入った。最近物忘れがひどいので忘れないようにしようっと。

■コースタイム

戸倉スキー場(8:00)~(9:15)尾根取付き(9:25)~(10:15)1520m付近(10:30)~(11:19)大行山(11:45)~北面滑降~(12:00)1560m(12:11)~(12:36)1752m峰と1786m 峰の鞍部(12:50)~(13:26)戸倉スキー場